

# 熊本県の平成 25 年度温室効果ガス総排出量について

熊本県の平成 25 (2013) 年度温室効果ガス総排出量について、以下のとおり算定しましたのでお知らせします。

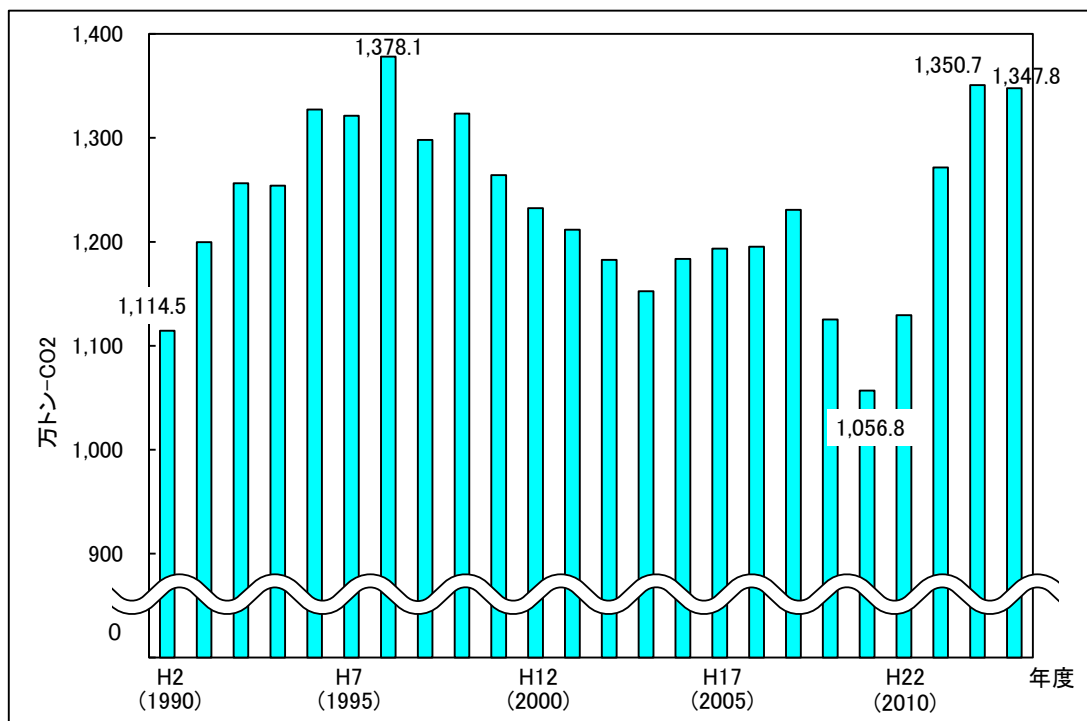
## 1 温室効果ガス総排出量について

熊本県の平成 25 (2013) 年度の温室効果ガス総排出量は、1,347 万 8 千トン(二酸化炭素換算)であり、京都議定書の基準年度である平成 2 (1990) 年度以降、3 番目に多い排出量でした。

この総排出量は平成 2 (1990) 年度の総排出量(1,114 万 5 千トン)と比較して 20.9%増加、前年度(平成 24 (2012) 年度)の総排出量(1,350 万 7 千トン)と比較して、0.2%減少となり、ほぼ横ばいでした(図 1)。

平成 2 (1990) 年度の総排出量と比べて増加した要因としては、東日本大震災以後の火力発電比率増加に伴い電力排出係数が上昇したこと、前年度(平成 24 (2012) 年度)と比べて減少した要因としては、国や電力会社の要請を受けての節電取組の継続により、エネルギー消費が抑制されたことなどが考えられます。

図1 温室効果ガス総排出量の推移



## 2 部門別の温室効果ガス排出量について

前年度よりも産業、家庭部門では減少し、運輸、業務部門等では増加しました(図2)。  
また、部門別の内訳は、産業部門が3割以上を占め最も多く、次いで家庭、運輸、業務部門となっています(図3)。

図2 部門別排出量の推移

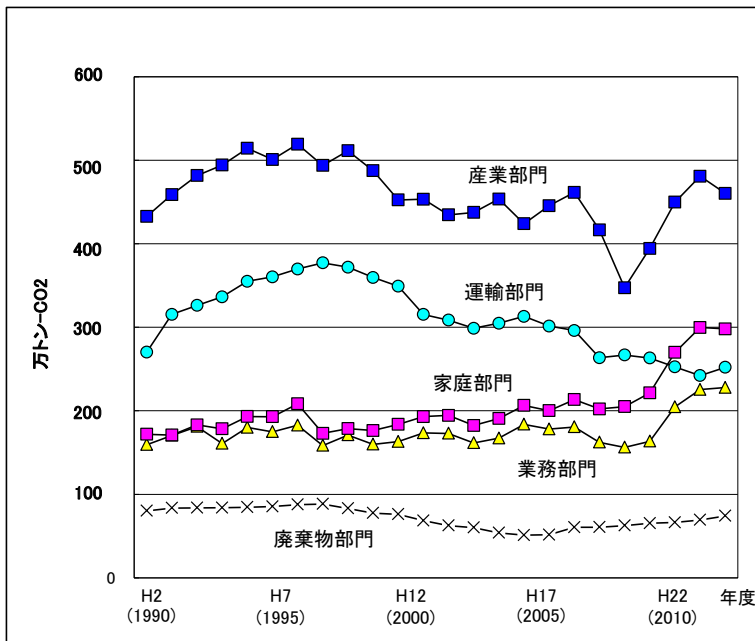


図3 部門別内訳

